

# 財団だより

<第73号>

特別号

一般財団法人 全国強制抑留者協会  
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2  
九段第二勸業ビル2階  
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548

## 旧ソ連並びにモンゴル抑留関係者

◆慰霊訪問(墓参)ご参加希望の皆様へ◆

一般財団法人 全国強制抑留者協会

会長 山田 秀三

平成二年より毎年催行して参りました旧ソ連並びにモンゴルへの慰霊訪問を、日本国内のコロナ感染症と当該国への渡航中止勧告に鑑み、今年度も中止致します。

二年続けての旧ソ連並びにモンゴルへの慰霊訪問の中止は財団法人を平成

全てのコースの催行を中止致します。

現在、日本国内でも、訪問予定しております国でもコロナワクチンの接種が行われています。令和四年度こそはコロナ感染症が収束して、慰霊訪問が催行できますよう切望します。

元年に結成しまして初めての出来事です。昨年来、また今年になっても多くの皆様より「慰霊訪問催行するのであれば参加したい」旨のお手紙やお電話頂戴いたしました。が、日本国内またロシア、カザフスタン等の状況に鑑み

### 埋葬(冥福)



(奈良県大和高田市 吉田 勇氏 画)

### 慰霊訪問(平成30年モルシャンスク)



## シベリア慰霊訪問

平成二年度から現在まで継続実施中。  
令和二年度（二〇二〇年度）と令和  
三年度（二〇二二年度）はコロナ禍で  
催行中止。

戦後、旧ソ連・モンゴル地区に強制抑  
留され、慣れない寒さと飢えと重労働  
の末、死亡された人々（約六〇、〇〇〇  
人）への慰霊を目的に平成二年度にス  
タートし、現在も継続実施中である。

慰霊訪問は大掛かりな慰霊式典では  
なく、訪問地内の各墓地や埋葬地で抑  
留死者の墓前を掃き清め、持参した  
日の丸の国旗と全抑協旗を掲げ、お米  
やお菓子、お酒やお花などをお供えし、  
線香を焚



き団長によ  
る追悼の詞  
と全員の黙  
祷という簡  
素ではある  
が厳肅な  
供養であ  
る。多い時  
期には一日  
に一〇カ所  
の慰霊巡拝  
を行ったと  
いう記録も

あった。

戦後七五年が過ぎた今日、抑留体験  
者による参加は少なくなったものの、  
次世代の参加が増加傾向にあり、これ  
からの慰霊事業に対し資するところと  
なっている。

### 訪問実績（平成二年度～令和一年度）

いずれも「シベリア慰霊訪問記」より

- ・ 総 班 数 一七五班
- ・ 訪 問 地 約八〇〇地区
- ・ 参 加 者 二、二八七名

（添乗員含む）

- ・ 墓 標 建 立 約一八三基

※墓標「友よやすらかに眠れ」

平成三・四年度の初期の頃は、いずれも埋葬  
地のほとんどが荒地や雑木林の中に放置さ  
れたままであったことから、内地より持参し  
た墓標を建立し懇ろに慰霊祭を行ったと記録  
されている。

### シベリア慰霊訪問記

帰国後、参加者からは感想文や埋葬地等の  
現状を纏めたレポートを提出いただき「シベ  
リア慰霊訪問記」を編集。現在、そのデー  
タを進めている。

- ・ 総 部 数 三十一部
  - ・ 原稿投稿数 一、五四五件
- （約、二〇〇頁）



愛媛県、愛知県で慰霊祭開催

五月八日愛媛県松山市万葉苑にて支部役員と一部有志で開催されました。



五月二十三日愛知県名古屋市中区栄会館にて慰霊祭が抑留体験者も参加されて開催されました。



令和三年度 七〇九月行事予定表

一・シベリア抑留関係地方展示会

- ①三重県支部 七月十六日～十八日 四日市市文化会館
- ②愛知県支部 七月二十八日～八月一日 名古屋博物館
- ③石川県支部 八月十三日～十五日 音楽堂交流ホール

二・シベリア抑留体験の労苦を語り継ぐ集い

- ①三重県支部 七月十七日 四日市市文化会館
- ②愛知県支部 八月一日 名古屋博物館
- ③石川県支部 八月十四日 音楽堂交流ホール

三・戦後強制抑留者慰霊祭

- ①熊本県支部 八月九日 熊本県合志市 慰霊碑前
- ②新潟県支部 八月九日 新潟市護国神社 慰霊碑前
- ③埼玉県支部 八月十六日 千鳥ヶ淵墓苑 慰霊碑前
- ④北海道支部 八月二十二日 真駒内滝野霊園 慰霊碑前
- ⑤岩手県支部 九月十一日 盛岡市上田公民館 慰霊碑前
- ⑥富山県支部 九月十一日 高岡市信光寺 慰霊碑前

中央慰霊祭 十月十四日開催予定

## 寄付金募集に關しましてのお礼とご報告

令和3年3月31日

日頃は一般財団法人全国強制抑留者協会の活動に対して多々なご理解と、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年度はコロナ禍の中、5月開催の理事会並びに6月開催の評議員会は「書面決議」にて開催し、令和2年度をスタートさせました。各支部で開催されたシベリア抑留関係慰霊祭、抑留体験の労苦を語り継ぐ集い、シベリア抑留関係展示会はコロナ対策を行いながらの自粛開催となりました。またコロナ禍の現況に鑑み開催を断念した支部もありました。財団設立後初めて経験する厳しい一年でありました。

平成26年の寄付金募集のお願いを致しまして以降、現在までに多数の方々から貴重な寄付金を頂戴しておりますのでご報告申し上げます。

- 平成27年3月31日付  
ご寄付合計件数…135件(現金…19件、現金書留…67件、振込…49件)  
ご寄付合計金額…883,000円
- 平成28年3月31日付  
ご寄付合計件数…119件(現金…24件、現金書留…52件、振込…43件)  
ご寄付合計金額…1,254,000円
- 平成29年3月31日付  
ご寄付合計件数…128件(現金…18件、現金書留…66件、振込…44件)  
ご寄付合計金額…994,000円
- 平成30年3月31日付  
ご寄付合計件数…51件(現金…7件、現金書留…22件、振込…22件)  
ご寄付合計金額…778,000円
- 平成31年3月31日付  
ご寄付合計件数…35件(現金…5件、現金書留…12件、振込…18件)  
ご寄付合計金額…510,000円
- 令和2年3月31日付  
ご寄付合計件数…38件(現金…8件、現金書留…15件、振込…15件)  
ご寄付合計金額…525,000円
- 令和3年3月31日付  
ご寄付合計件数…32件(現金…4件、現金書留…10件、振込…18件)  
ご寄付合計金額…1,038,000円

以上のご寄付と温かい励ましのことを頂戴しております。改めまして御礼申し上げます。

皆様からのご支援のお陰で令和2年度も慰藉事業に關します経費の一部または全部を国からの補助金を受けることができ、年度当初に予定しておりました事業は一部を除き終了することができました。引き続き戦後強制抑留問題を風化させないために、また抑留者の体験を将来への教訓としまして継承できますよう活動して参る所存です。

今後とも皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

一般財団法人 全国強制抑留者協会  
会長 山田 秀三

### 寄付の方法

- 銀行振込でのご送金 三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店  
普通預金口座 0730329
- 現金でのご送金 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2  
九段第二勸業ビル2階 一般財団法人 全国強制抑留者協会